

厚生労働省北海道労働局発表
令和5年1月30日

担当
厚生労働省
北海道労働局労働基準部安全課
課長 八反田 健
副主任産業安全専門官 鍋岡 順子
代表電話：011-709-2311（内線 3552）
直通電話：011-788-6327

報道関係者 各位

令和4年の死亡労働災害による被災者は49人に

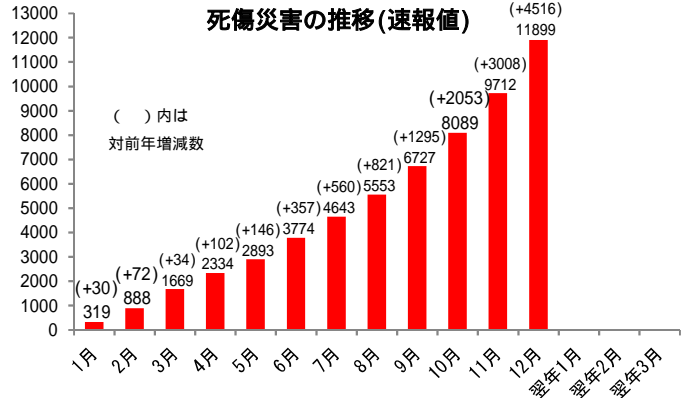
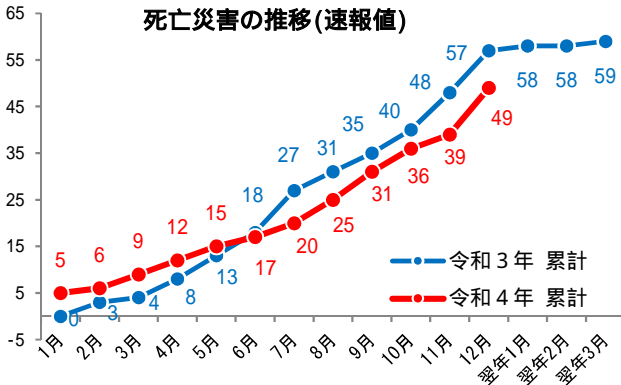
～令和4年の北海道内の労働災害発生状況(令和4年12月末現在速報値)～

北海道労働局(局長 ともふじとしあき 友藤智朗)は、令和4年の労働災害発生状況(令和4年12月末現在速報値)について取りまとめたので、その内容を公表します。

令和4年の死亡労働災害は12月に10人となり急増しています。増加の原因は北海道の冬季特有の気候によるもので、凍結路面によるスリップ事故や屋根の除雪に伴う墜落災害等が発生しています。冬季は急激な天候、気温変化や積雪等により作業環境が変わりますので、これに注意した労働災害防止対策が強く求められます。北海道労働局では例年どおり、北海道冬季ゼロ災運動を呼び掛けています。

1 労働災害の月別推移

令和4年12月末現在の道内の労働災害による死亡者数は49人で、前年同期と比べて8人減少しており、休業4日以上⁽¹⁾の死傷者数は11,899人で、前年同期と比べて61.2%増加しています。

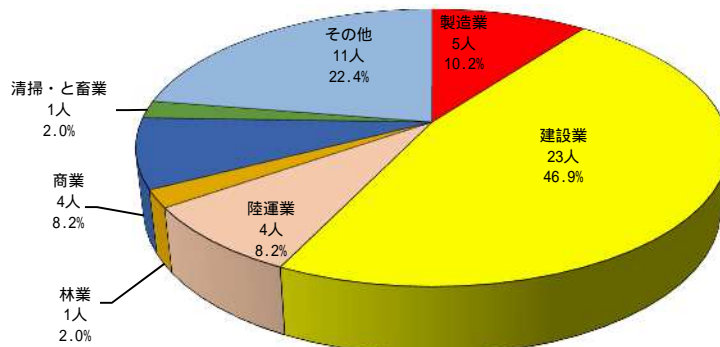


2 死亡災害発生状況

(1) 業種別の状況【資料番号1】

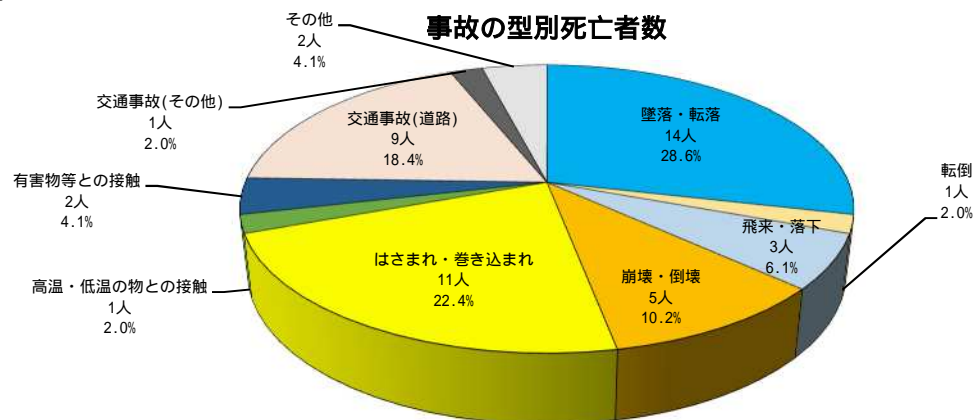
業種別では、建設業において23人と死亡災害の46.9%を占めており、次いで製造業が5人、陸運業及び商業が4人です。

業種別死亡者数



(2) 事故の型別の状況【資料番号2】

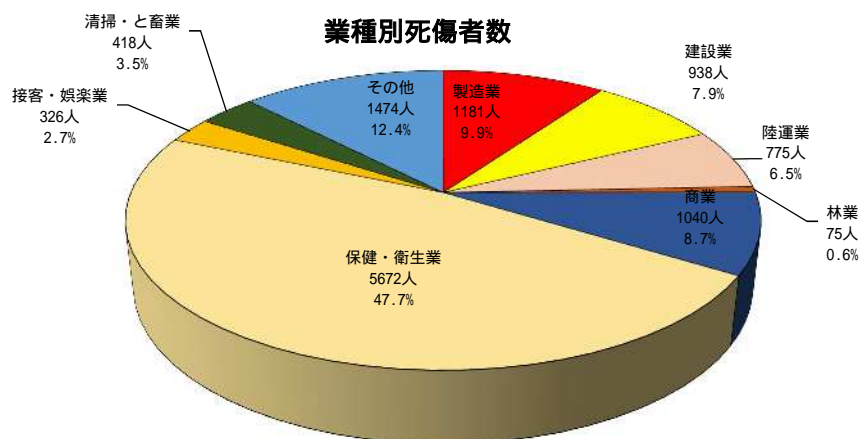
事故の型別では、「墜落・転落」が14人、「はさまれ,巻き込まれ」が11人、「交通事故(道路)」が9人となっています。



3 休業4日以上死傷災害発生状況

(1) 業種別の状況【資料番号3】

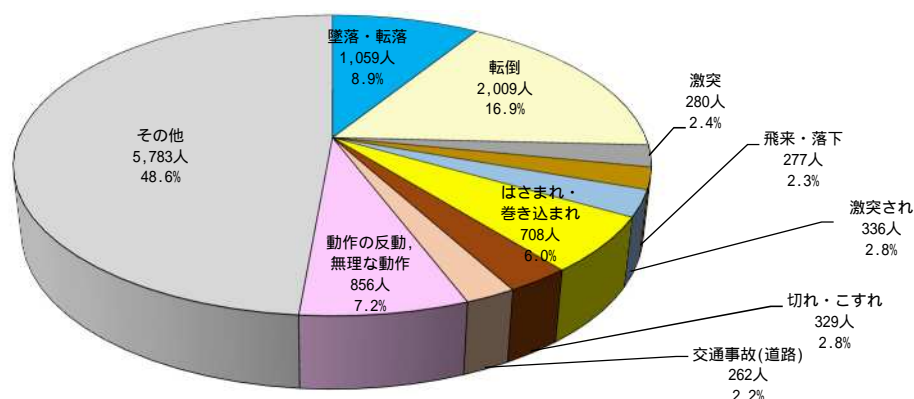
業種別では保健・衛生業が5,672人と最も多く、製造業が1,181人、商業が1,040人、建設業が938人、陸上貨物運送事業が775人の順となっています。



(2) 事故の型別の状況【資料番号4】

事故の型別では、「転倒」が2,009人で最も多く、「墜落・転落」が1,059人、「動作の反動,無理な動作」が856人、「はさまれ・巻き込まれ」が708人、「激突され」が336人の順となっています。

事故の型別死傷者数



4 北海道労働局の対応

北海道における労働災害防止のために、災害多発業種に対して業種ごとの災害特性に応じた重点的な災害防止対策を推進するほか、転倒災害等の業種を問わず多発している災害についても災害態様に応じた災害防止対策を推進しています。

(主な取組の推進)

○「北海道冬季ゼロ災運動」を実施します。

北海道では冬季において、凍結等による転倒、自動車のスリップや吹雪等による視界不良時の交通事故、除雪作業に伴う墜落災害、屋内での内燃機関、練炭、ジェットヒーター等の使用による一酸化炭素中毒が発生しています。

このことから、北海道労働局では、冬季に発生する労働災害のリスクを低減させるため「北海道冬季ゼロ災運動」を実施し、これに基づいた対策を講じた上で作業を行うことにより、冬季特有の労働災害を減少させることを目指します。

【取組期間:令和4年12月1日～令和5年3月31日】

参考：リーフレットのダウンロードはこちらです。

北海道労働局ホームページ内に移動します。

URL https://jsite.mhlw.go.jp/hokkaido-roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/anzen_eisei/anzen-kankei/saigai/toukisaigaiboushi.html



○ 職場における新型コロナウイルス感染症対策実施のため「取組の5つのポイント」を確認しましょう！

厚生労働省では、職場における新型コロナウイルス感染症対策の基本的事項である、取組の5つのポイントと感染防止対策の実践例を示し、事業場の実態に即した、実行可能な感染拡大防止対策の推進を呼びかけています。

参考：リーフレットのダウンロードはこちらです。

厚生労働省ホームページ内に移動します。

URL <https://www.mhlw.go.jp/content/11302000/000736900.pdf>



【添付資料】

資料番号	1	令和4年における死亡災害発生状況
資料番号	2	令和4年における死亡災害発生状況(その他の事業の内訳)
資料番号	3	令和4年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況
資料番号	4	令和4年 業種別労働災害発生状況(その1、その2)
資料番号	5	令和4年 業種別・事故の型別・起因物別死傷災害発生状況
資料番号	6	令和4年 署別・業種別死亡災害発生状況
資料番号	7	令和4年 死亡労働災害の概要(令和4年12月把握分)
資料番号	8	令和4年 有害物質による急性中毒等発生状況

労働災害統計表について

各年の災害統計は、翌年3月末までに把握した12月末までの休業4日以上の災害情報を集計して、統計値を確定しています。

令和4年の災害統計は、令和5年3月31日以降に確定することとなります。

令和4年における死亡災害発生状況 [速報]

令和4年1月1日～令和4年12月31日

北海道労働局

業種	令和4年		令和3年同期		対前年比較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
全産業	49 (9)	100.0	57 (7)	100.0	-8	-14.0	-10	-20.0
製造業	5 ()	10.2	3 ()	5.3	2	66.7	2	66.7
鉱業	()		1 ()	1.8	-1	-100.0	-1	-100.0
建設業	23 (1)	46.9	20 (1)	35.1	3	15.0	3	15.8
交通運輸事業	1 ()	2.0	1 ()	1.8				
陸上貨物運送事業	4 (1)	8.2	8 (2)	14.0	-4	-50.0	-3	-50.0
港湾運送業	()		()			-		-
林業	1 ()	2.0	1 ()	1.8				
その他の事業	15 (7)	30.6	23 (4)	40.4	-8	-34.8	-11	-57.9

(注) 1. 本統計は死亡災害報告に基づき、上記期間について集計したものである。

2. 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

3. 本年・昨年ともに集計期間に把握した速報値である。

令和4年における死亡災害発生状況(その他の事業の内訳)

令和4年1月1日～令和4年12月31日

北海道労働局

業種	令和4年		令和3年同期		対前年比較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
その他の事業	15 (7)	100.0	23 (4)	100.0	-8	-34.8	-11	-57.9
小売業	4 (3)	26.7	5 (3)	21.7	-1	-20.0	-1	-50.0
医療保健業	()		1 (1)	4.3	-1	-100.0		-
社会福祉施設	()		()			-		-
清掃・と畜業(ビルメン テナンス業を除く)	1 ()	6.7	1 ()	4.3				
ビルメンテナンス業	()		1 ()	4.3	-1	-100.0	-1	-100.0
ゴルフ場の事業	()		()			-		-
警備業	2 (2)	13.3	1 ()	4.3	1	100.0	-1	-100.0
農業・畜産業	3 ()	20.0	4 ()	17.4	-1	-25.0	-1	-25.0
水産業	2 ()	13.3	3 ()	13.0	-1	-33.3	-1	-33.3
その他	3 (2)	20.0	7 ()	30.4	-4	-57.1	-6	-85.7

(注) 1. 本統計は死亡災害報告に基づき、上記期間について集計したものである。

2. 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

3. 本年・昨年ともに集計期間に把握した速報値である。

令和4年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況

令和4年1月1日～令和4年12月31日

北海道労働局

事故の型番号	業種番号 業種	1 製	2 鉱	3 土	4 建	5 道	6-2 陸	7-2 港	7-2 林	7-2 水	その他 の 事 業	起因物番号 起因物	11	12	13	14	15	16	17	21	22	23	31	32	33	34	35	36	37	39	41	51	52	61	71	91	92	99
													原	動	木	建	金	一	車	動	動	乗	圧	化	溶	炉	電	人	用	そ の 他 の 装 置 設 備	仮 設 物 ・ 建 築 物 ・ 構 築 物 等	危 険 物 ・ 有 害 物 等	材	荷	自 然 環 境 等	そ の 他 の 起 因 物	起 因 物 な し	分 類 不 能
1	墜落、転落				10	1						3	14					1	1										1	1	6				2			
2	転倒										1	1									1																	
3	激突																																					
4	飛来、落下				1					1	1	3																1	1		1							
5	崩壊、倒壊	1			3				1			5																			1		1	3				
6	激突され																																					
7	はさまれ、巻き込まれ	3			5	2					1	11				2				2	7																	
8	切れ、こすれ																																					
9	踏抜き																																					
10	おぼれ																																					
11	高温、低温の物との接触				1							1																							1			
12	有害物等との接触				2							2																		2								
13	感電																																					
14	爆発																																					
15	破裂																																					
16	火災																																					
17	交通事故(道路)				1	1					7	9									2	5													2			
18	交通事故(その他)									1		1										1																
19	動作の反動・無理な動作																																					
90	その他	1				1						2																								1	1	
99	分類不能																																					
	合計	5			23	4	1			1	2	13	49			2		1	1	2	10	8						1	2	3	8		1	8	1	1		

業種別労働災害発生状況 その1

令和4年1月1日～令和4年12月31日

北海道労働局

業種別	区分	令和4年			令和3年			対前年		業種割合 (%)	令和3年確定		
		死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
全産業合計		49	11,850	11,899	57	7,326	7,383	4,516	61.2	100.0	59	8,088	8,147
製造業	製造業	5	1,176	1,181	3	1,131	1,134	47	4.1	9.9	3	1,214	1,217
	食品	1	629	630		603	603	27	4.5	5.3		654	654
	木材・家具		93	93	1	107	108	-15	-13.9	0.8	1	111	112
	紙・印刷		30	30		18	18	12	66.7	0.3		19	19
	窯業・土石		62	62	1	46	47	15	31.9	0.5	1	48	49
	金属・機械		174	174		167	167	7	4.2	1.5		172	172
	その他	4	188	192	1	190	191	1	0.5	1.6	1	210	211
鉱業	鉱山		3	3		2	2	1	50.0	0.0		2	2
	土石採取業		19	19	1	21	22	-3	-13.6	0.2	1	23	24
建設業	建設業	23	915	938	20	878	898	40	4.5	7.9	20	939	959
	土木工事業	13	364	377	11	322	333	44	13.2	3.2	11	348	359
	建築工事業	5	366	371	6	355	361	10	2.8	3.1	6	377	383
	木造建築業		99	99	1	107	108	-9	-8.3	0.8	1	118	119
	その他	5	86	91	2	94	96	-5	-5.2	0.8	2	96	98
交通運輸事業	1	309	310	1	210	211	99	46.9	2.6	1	241	242	
陸上貨物運送事業	陸上貨物運送事業	4	771	775	8	768	776	-1	-0.1	6.5	8	856	864
	道路貨物運送	4	723	727	8	709	717	10	1.4	6.1	8	795	803
	陸上貨物取扱		48	48		59	59	-11	-18.6	0.4		61	61
港湾運送業		16	16		20	20	-4	-20.0	0.1		21	21	
林業	1	74	75	1	68	69	6	8.7	0.6	1	73	74	
水産業	2	118	120	3	109	112	8	7.1	1.0	3	127	130	
商業	4	1,036	1,040	8	1,086	1,094	-54	-4.9	8.7	8	1,232	1,240	
清掃・と畜業	1	417	418	2	360	362	56	15.5	3.5	2	398	400	
上記以外の事業	8	6,996	7,004	10	2,673	2,683	4,321	161.1	58.9	12	2,962	2,974	

(注) 本年・昨年ともに集計期間に把握した速報値である。

第13次労働災害防止計画進捗状況

12月末同月比

	死亡災害			死傷災害		
	被災者数	増減数	増減率	被災者数	増減数	増減率
基準年(平成29年)	72			5,922		
5年目(令和4年)	49	-23	-31.9%	11,899	5,977	100.9%

第13次労働災害防止計画の目標
平成29年と比較して令和4年までに…
・死亡者数を20%以上減少させる。
・死傷者数を5%以上減少させる。

業種別労働災害発生状況 その2

令和4年1月1日～令和4年12月31日

北海道労働局

「上記以外の事業」の内訳

業種別	令和4年			令和3年			対前年		業種割合 (%)	令和3年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
農業	1	94	95	3	99	102	-7	-6.9	0.8	3	112	115
畜産業	2	302	304	1	252	253	51	20.2	2.6	1	275	276
金融・広告業		34	34		42	42	-8	-19.0	0.3	1	46	47
映画・演劇業		4	4		4	4			0.0		5	5
通信業		175	175		148	148	27	18.2	1.5		156	156
教育・研究業	1	93	94	1	69	70	24	34.3	0.8	1	74	75
保健衛生業		5,672	5,672	1	1,392	1,393	4,279	307.2	47.7	1	1,557	1,558
接客娯楽業		326	326	2	349	351	-25	-7.1	2.7	3	382	385
その他の事業	4	296	300	2	318	320	-20	-6.3	2.5	2	355	357
合計	8	6,996	7,004	10	2,673	2,683	4,321	161.1	58.9	12	2,962	2,974

「第三次産業」の内訳

業種別	令和4年			令和3年			対前年		業種割合 (%)	令和3年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
商業	4	1,036	1,040	8	1,086	1,094	-54	-4.9	8.7	8	1,232	1,240
うち 小売業	4	814	818	5	850	855	-37	-4.3	6.9	5	975	980
金融・広告業		34	34		42	42	-8	-19.0	0.3	1	46	47
映画・演劇業		4	4		4	4			0.0		5	5
通信業		175	175		148	148	27	18.2	1.5		156	156
教育・研究業	1	93	94	1	69	70	24	34.3	0.8	1	74	75
保健・衛生業		5,672	5,672	1	1,392	1,393	4,279	307.2	47.7	1	1,557	1,558
うち 社会福祉施設		2,401	2,401		912	912	1,489	163.3	20.2		994	994
うち 医療保健業		3,254	3,254	1	468	469	2,785	593.8	27.3	1	550	551
接客・娯楽業		326	326	2	349	351	-25	-7.1	2.7	3	382	385
うち 飲食店		162	162		164	164	-2	-1.2	1.4	1	185	186
うち 旅館業		72	72	1	97	98	-26	-26.5	0.6	1	102	103
うち ゴルフ場		39	39		43	43	-4	-9.3	0.3		46	46
清掃・と畜業	1	417	418	2	360	362	56	15.5	3.5	2	398	400
その他の事業	4	296	300	2	318	320	-20	-6.3	2.5	2	355	357
うち 警備業	2	59	61	1	79	80	-19	-23.8	0.5	1	84	85
合計	10	8,053	8,063	16	3,768	3,784	4,279	113.1	67.8	18	4,205	4,223

令和4年 署別・業種別死亡災害発生状況

令和4年1月1日～令和4年12月31日

北海道労働局

業種別	1号		2号		3号	4号		5号		6-2号	7-2号	その他 の事業	合計
	製造業	うち木材木 製品製造業	鉱山保安法 適用事業	土石採取業	建設業	道路貨物 運送業	その他の 運輸業	陸上貨物 取扱業	港湾運送業	林業	水産業		
署別													
札幌中央	1				2							2	5
札幌東					2		1					1	4
函館					5						2	1	8
小樽					1								1
岩見沢					1								1
旭川												2	2
帯広					1							4	5
滝川	1				2								3
北見					1								1
室蘭					2	1							3
釧路	1				1	2						2	6
名寄					2								2
留萌													
稚内													
浦河					1					1			2
苫小牧	2				1	1						1	5
倶知安					1								1
計	5				23	4	1			1	2	13	49

死亡労働災害の概要(令和4年12月把握分)

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
4	11	17時台	その他の事業	10人未満	交通事故(道路)	乗物 2 3 1	被災者はトラクターショベルを当該事業場の車両置場に移送させた後、翌日の作業準備のため、車両置場から資材置場の詰所へ徒歩で町道を移動していたところ、後方から来た一般乗用車にはねられたもの。
4	11	8時台	水産業	10人未満	飛来、落下	用具 3 7 2	被災者は川に仕掛けていたさけ捕獲用の網をジブクレーン(つり上げ荷重2.9トン)で吊り上げ、旋回し、河川敷にある木枠の中にいれる作業を行っていた。網を手で手繰り木枠に誘導するため、網に近づいたところ、網内に残っていた石(直径30センチ、重さ20キロ程度)が落下し、被災者の頭頂部に当たったもの。
4	11	13時台	小売業	10人未満	交通事故(道路)	動力運搬機 2 2 1	被災者は、本社での出張業務を終え、社有車(普通乗用車)を運転し国道を走行中、トンネル内で対向車線を走行して来た1tトラックがセンターラインをはみ出し、正面衝突したもの。
4	12	15時台	その他の事業	10人未満	交通事故(道路)	乗物 2 3 1	被災者は、畑での作業を終え、社有車を運転し、苫小牧市内の事業場へ向けて道路上を走行していたところ、凍結路面でスリップして対向車線にはみ出し、同車線を走行してきた大型トラックと衝突したもの。
4	12	10時台	林業	10人未満	崩壊、倒壊	環境等 7 1 2	被災者は、間伐作業現場において、チェーンソーによる伐木作業中、かかり木となった伐倒木の付近で別の立木を伐倒していたところ、当該かかり木が被災者に倒れ掛かり、木の下敷きになっているところを発見されたもの。
4	12	9時台	土木工事業	10人未満	はさまれ、巻き込まれ、巻	動力運搬機 2 2 1	被災者は雪捨て場において、ダンプカー(最大積載量2トン)で排雪作業を行っていたが、ダンプカーが雪にはまって動かなくなったため、別のダンプカー(同4トン)で牽引することとした。その準備作業のため、両ダンプカーの間に立ち入り、後進するダンプカーを誘導していたところ、スタックしていたダンプカーと後進するダンプカー間挟まれたもの。
4	12	0時台	水産業	10人未満	交通事故(その他)	乗物 2 3 9	被災者は漁船(9.7トン)で、スケトウダラ刺し網漁を行っていたが、漁が終わり、帰港中、右舷側から波をかぶって転覆し、海中に投げ出され溺死したものの。
4	12	10時台	土木工事業	50人以上 99人	はさまれ、巻き込まれ、巻	建設用等機械 1 4 9	被災者はトンネル坑内の器材坑と呼ばれる箇所的一次吹付作業をエレクトーン一体型吹付機を用いてリモコンにより、単独で操作していたところ、当該吹付機のアームが右側面側に動いたことによりアームと器材坑に設置されていた鋼製支保工との間に体等を挟まれたもの。
4	12	10時台	土木工事業	10人未満	墜落、構築物等	物 4 1 5	被災者は委託を受けた施設の屋根の雪下ろし作業で、屋根上に上がり雪庇を落としていたところ、足元の雪が屋根を滑り出し、雪とともに地上に墜落し、雪に埋まったもの。
4	12	10時台	土木工事業	10人未満	墜落、構築物等	物 4 1 5	同上

令和4年 有害物質による急性中毒等発生状況

北海道労働局 令和4年12 月末現在

	発 生 月	時 刻	業 種	規 模	災害の状況
1	3	14時台	その他の建設業	10人未満	<p>商業ビルの店舗内において、ガソリンエンジン式高圧洗浄機を用いて排水管の洗浄作業を代表者1名ほか4名で行っていたところ、当該洗浄機の排気ガスが店舗内に充満し、当該洗浄機付近で作業していた労働者1名が倒れたため、代表者は社用車で作業員全員を休憩させた。他の労働者1名も寒気を訴えたため、代表者は店舗経営者に救急車を呼ばせ、作業員全員を医療機関に搬送させた結果、全員が一酸化炭素中毒と診断されたもの。</p> <p>[一酸化炭素中毒:被災者4人(休業4日未満)]</p>
2	4	9時台	浴場業	30人以上50人未満	<p>男性トイレを清掃中、便器に酸性洗剤をかけ、浸している間に異臭が発生し、気分が悪くなり、病院で「塩素ガス中毒」と診断され入院した。</p> <p>[その他の中毒:被災者1人(休業4日以上)]</p>
3	6	11時台	その他の事業	50人以上100人未満	<p>倉庫内において、内燃式フォークリフトを運転し、出庫及び破れたフレコンの詰め替え作業等を行っていたところ、具合が悪くなったもの。</p> <p>[一酸化炭素中毒:被災者1人(休業4日以上)]</p>
4	10	13時台	畜産業	10人以上30人未満	<p>養豚場において、豚舎から出た豚の糞尿等が流れ込むマンホール(深さ3.2m)の底に溜まった固形物を取り除く作業を行っていたところ、硫化水素中毒となり、意識状態が悪化して身動きが取れなくなったもの。</p> <p>[硫化水素中毒:被災者1人(休業4日以上)]</p>
5	10	11時台	その他の建設業	10人以上30人未満	<p>工場内設備の修繕作業を行っていた作業員が、手持ち式金属切断機を用いてボルトを切断していたところ、切断したボルト1本を混炭機内に落としてしまったことから、回収のため同機内に入ったところ倒れ、救出のためため近づいた職長も同機内で倒れたもの。</p> <p>[酸素欠乏症:被災者2人(死亡)]</p>
6	10	12時台	自動車小売業	10人未満	<p>3名の労働者が、工場内で車両の整備等の作業をしていたところ、3人共がめまい、頭痛を訴え病院に搬送され、一酸化炭素中毒と診断されたもの。 工場内では廃油を使用するストーブが使用されていた。</p> <p>[一酸化炭素:被災者3人(休業4日以上1名、不休2名)]</p>
7	10	19時台	畜産業	10人以上30人未満	<p>被災者は、ロボット搾乳機を洗浄する酸性洗剤が入った容器に、誤って塩素系殺菌剤を入れてしまい、発生した塩素ガスを吸ってしまったもの。</p> <p>[その他の中毒:被災者1人(休業4日未満1名)]</p>

令和4年 有害物質による急性中毒等発生状況

	発生月	時刻	業種	規模	災害の状況	
					発生件数	被災者数
合計				7	内訳	一酸化炭素中毒 3 件 酸素欠乏症 1 件 硫化水素中毒 1 件 その他の中毒 2 件
				13	内訳	死亡 2 人 休業4日以上 4 人 休業4日未満 5 人 不休 2 人